

令和元年度 菊間国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

10月18日（金）、菊間事業所において防災訓練計画に基づき、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構の主催により、令和元年度 総合防災訓練を実施した。

今年度は初めてドローンを活用した訓練状況の撮影を行ったが、降雨のため陸上訓練のみの撮影となった。

陸上訓練は、南海トラフ巨大地震（菊間町は震度6弱）が発生し、原油タンク（TK-107）の付属配管から原油（約100L）が漏洩、防油堤に亀裂、火災に備え待機中の防災要員が熱中症により負傷。その後、原油タンク（TK-107）でリング火災が発生し、消火活動後に「津波警報」が発令されたとの想定で、関係機関への通報訓練、広報活動訓練、災害応急活動訓練（漏洩停止措置、土のう構築）、負傷者応急処置・救急搬送訓練、防消火訓練および避難訓練を実施した。

また、海上訓練では、TK-107の付属配管から漏洩した原油がガードベースを経由し海上に流出した、との想定で、関係機関への通報訓練、油防除拡散訓練（オイルフェンス展張訓練、油回収・拡散処理訓練）を実施した。

訓練参加機関は、基地の自衛防災組織の他、今治市西消防署・菊間分署、今治海上保安部、共同防災組織（太陽石油㈱四国事業所と菊間基地で構成）、太陽テクノサービス㈱の5機関に参加頂き、総員113名、訓練車両10台、船舶8隻で、連携の取れた緊迫感のある訓練が行われた。



訓練開始宣言



防油堤亀裂部への土嚢構築



熱中症応急処置・救急搬送



冷却散水（ドローン映像）


 オイルフェンスの展張および
流出油の拡散・回収


訓練終了式